

国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	関東甲信越地区（主担当大学：上越教育大学）
事業名	関東甲信越地区国立大学図書館職員研修会 「子どもへの読み聞かせに関する研修会－読み聞かせにチャレンジ－」
事業目的・趣旨	大学図書館において、子どもへの読み聞かせ会の開催を始めるために必要な基本的な理論や技術を習得すること。 本を好きになってもらうための1つのきっかけとなりうる「読み聞かせ」について勉強し、実際に「読み聞かせ」を実施してみる。 図書館職員としての引き出しを増やし、改めて読書の大切さや意味についても考える。 学内「学生や職員を対象とした読み聞かせに関する研修会」を兼ねて開催する。
実施内容	期 日 平成29年1月10日(火) 会 場 上越教育大学第2講義棟104教室(新潟県上越市山屋敷町1番地) 13:10 開会挨拶 廣瀬裕一(上越教育大学附属図書館長) 13:15～14:50 講演1 白神敬介(上越教育大学大学院准教授) 「子どもの発達と読み聞かせ」 15:00～16:55 講演2 朝日仁美(糸魚川市立糸魚川小学校学校司書、JPIC読書アドバイザー、絵本専門士) 「学校現場での読み聞かせの実際」 実演、質疑応答 参加者による練習・実演 16:55 閉会挨拶 佐藤秀(上越教育大学学術情報課長) 17:00～17:20 図書館内見学(希望者)
事業の成果 (アンケート調査結果、事業への意見・感想等)	関東甲信越地区国立大学附属図書館のほか、市内公立図書館、本学学生、職員から14名の参加があった。 読み聞かせに関しての、理論的な面からの講演と、実践的な面からの講演について、参加者が熱心に聞き入るとともに、終盤では、短い時間ではあったが、参加者がグループになり、全員が自分で選んだ絵本について、実際に交互に読み聞かせを行い、講師からコメントをもらう貴重な経験ができた。 アンケート調査では、今後、学生との協働を検討する中で参考になる内容だった、講演実演と構成がよかった、実践で行っている方の具体的な話が聞けて有意義でした等の感想が寄せられ、参加者は、子どもの発達と読み聞かせの基本的な理論と具体的な読み聞かせの方法について基礎的な知見を得ることができたと思われる。また、目的や対象者別において留意することや複数冊読み聞かせを行う場合の構成等についての研修会を希望する回答もあった。 これらの研修内容から、図書館での読み聞かせ会の開催や学生との協働を検討する素地ができるとともに、日常つい忘れがちな読書の意味や子どもの視点としての読書の捉え方について改めて認識することができた。
経費	12,040円 (内訳)講師謝金(9,600円)、旅費(2,440円)